別紙

特　記　仕　様　書

1　業務番号
　工水委第10号

2　業 務 名
　工業用水道センター天日乾燥池汚泥処分業務（単価契約）

3　履行期間
　契約締結日から令和9年3月25日まで

4　業務内容
　工業用水道センター天日乾燥池の乾燥汚泥（砂含む）の処分

5　処分汚泥量
　64t（予定数量）

6　汚泥の排出場所
　工業用水道センター

7　汚泥の運搬及び搬入
　発注者が別途発注予定の工業用水道センター天日乾燥池汚泥処理及び運搬業務の受注者が行う。

8　提出書類
（1）受注者は、契約締結時、すみやかに次の書類を提出すること。
　①産業廃棄物処分業許可証の写し
（2）受注者は、契約締結後、すみやかに次の書類を提出すること。
　①　主任担当者通知書
　②　着手届
（3）受注者は、業務が完了した時は、すみやかに次の書類を提出すること。
　①　業務完了届
　②　産業廃棄物処分集計表
　③　建設廃棄物マニフェストＤ表及びＥ表

9　その他
（1）本業務における処分対象となる汚泥は産業廃棄物のため、業務遂行には廃棄物の処理及び清掃に関する法律その他関係法令を遵守し、適正に処分すること。
（2）本仕様書に記載されていない事項に関しては、発注者と協議の上決定すること。

＜表　面＞

管理番号

廃棄物データシート（WDS）

※1 本データシートは廃棄物の成分等を明示するものであり、排出事業者の責任において作成して下さい。
※2 記入については、「廃棄物データシートの記載方法」を参照ください。
※3 一品目に対して、一枚作成ください。

1	作成年月日	令和8年11月19日			記入者　三上　智也		
2	排出事業者の名称等	名称	工業用水道センター	所属	上下水道部水道課　浄水管理室		
		所在地	〒 037-0096 五所川原市大字毘沙門字上熊石1-281外	担当者	三上　智也	TEL	0173-34-2639
						FAX	0173-34-2639
3	廃棄物の名称	汚泥					
4	廃棄物の発生工程 ☐工程図等添付	原水に凝集剤（ポリ塩化アルミニウム）を添加して発生した沈殿物を、天日乾燥池で乾燥させた汚泥及び砂。					
5	廃棄物の種類 ☐産業廃棄物	☑汚泥　☐廃油　☐廃酸　☐廃アルカリ ☐その他（　　） ※ 廃棄物が以下のいずれかに該当する場合 ☐石綿含有産業廃棄物　☐水銀使用製品産業廃棄物　☐水銀含有ばいじん等					
	☐特別管理産業廃棄物	☐引火性廃油　☐強アルカリ（有害）　☐指定下水汚泥　☐廃酸（有害） ☐引火性廃油（有害）　☐感染性廃棄物　☐鉱さい（有害）　☐廃アルカリ（有害） ☐強酸　☐PCB等　☐燃えがら（有害）　☐ばいじん（有害） ☐強酸（有害）　☐廃水銀等　☐廃油（有害）　☐13号廃棄物(有害) ☐強アルカリ　☐廃石綿等　☐汚泥（有害）					
6	特定有害廃棄物 ○:含有 ×:非含有 △:含有の可能性あり	（ × ）ｱﾙｷﾙ水銀　（ × ）ﾄﾘｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ　（ × ）1,3-ｼﾞｸﾛﾛﾌﾟﾛﾍﾟﾝ （ × ）水銀又はその化合物　（ × ）ﾃﾄﾗｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ　（ × ）チウラム （ × ）カドミウム又はその化合物　（ × ）ｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝ　（ × ）シマジン （ × ）鉛又はその化合物　（ × ）四塩化炭素　（ × ）ﾁｵﾍﾞﾝｶﾙﾌﾞ （ × ）有機燐化合物　（ × ）1,2-ｼﾞｸﾛﾛｴﾀﾝ　（ × ）ベンゼン （ × ）六価ｸﾛﾑ化合物　（ × ）1,1-ｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ　（ × ）セレン （ × ）砒素又はその化合物　（ × ）ｼｽ-1,2-ｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ　（ × ）ダイオキシン類 （ × ）ｼｱﾝ化合物　（ × ）1,1,1-ﾄﾘｸﾛﾛｴﾀﾝ　（ × ）1,4-ジオキサン （ × ）PCB　（ × ）1,1,2-ﾄﾘｸﾛﾛｴﾀﾝ					
7	廃棄物の 組成・成分情報 ☐情報伝達が義務付けられている危険・有害物質	物質名又は品名		量・濃度		CAS登録番号	
	☐その他主要成分						
8	その他含有物質 ○:含有 ×:非含有 △:含有の可能性あり	（ × ）硫黄　（ × ）塩素　（ × ）臭素 ☐ （ × ）ヨウ素　（ × ）フッ素　（ × ）炭酸 （ × ）硝酸　（ × ）亜鉛　（ × ）ニッケル （ × ）銅　（ ○ ）アルミ　（ × ）アンモニア （ × ）ホウ素　（ × ）アンチモン　（ × ）その他（　　）					

9	水道水源における消毒副生成物前駆物質 ☐有 ・ ☑無	生成物質:ホルムアルデヒド(塩素処理により生成) ☐ヘキサメチレンテトラミン(HMT) ☐1,1-ジメチルヒドラジン(DMH) ☐N,N-ジメチルアニリン(DMAN) ☐トリメチルアミン(TMA) ☐テトラメチルエチレンジアミン(TMED) ☐N,N-ジメチルエチルアミン(DMEA) ☐ジメチルアミノエタノール(DMAE)
		生成物質:クロロホルム(塩素処理により生成) ☐アセトンジカルボン酸 ☐1,3-ジハイドロキシルベンゼン(レゾルシノール) ☐1,3,5-トリヒドロキシベンゼン ☐アセチルアセトン ☐2'-アミノアセトフェノン ☐3'-アミノアセトフェノン
		生成物質:臭素酸(オゾン処理により生成)、ジブロモクロロメタン、ブロモジクロロメタン、ブロモホルム(塩素処理により生成) ☐臭化物(臭化カリウム等)
10	有害特性 ☐有 ・ ☑無 ☐不明 参考	☐爆発性 ☐引火性(℃) ☐可燃性 ☐自然発火性(℃) ☐禁水性 ☐酸化性 ☐有機過酸化物 ☐急性毒性 ☐感染性 ☐腐食性 ☐毒性ガス発生 ☐慢性毒性 ☐生態毒性 ☐重合反応性 ☐その他( )
11	廃棄物の物理的・化学的性状	形状 ☐固形 ☑泥状 ☐液状 → 粘性 ☑無 ☐有 → ☐弱 ☐中 ☐強) 臭気 ☑無 ☐有 → ☐弱 ☐中 ☐強 (臭気種類:) 色 ( ) 比重( ) pH ( ) 沸点( ) 融点( ) 発熱量( ) 水分(%)
12	品質安定性	経時変化(☐有 ・ ☑無) 有る場合は具体的に記入 ( )
13	荷姿	☐容器 ( ) ☑車両 (バラ) ☐その他 ( )
14	排出頻度 数量	頻度: (☑スポット ☐継続予定) 数量: (64) ☐kg ☑t ☐リットル ☐㎥ ☐本 ☐缶 ☐袋 ☐個 ／ ☐年 ☐月 ☐週 ☐日
15	特別注意事項	※取り扱う際に必要と考えられる注意事項を記載
	保護具	☐ガスマスク着用 →ガスマスク種類 ( ) 吸収缶種類 ( ) ☐保護手袋 ☐保護メガネ ☐その他 ( )
	応急処置	☐吸入時 → ☐新鮮な空気の場所に移動し安静にする ☐その他 ( ) ☐皮膚付着時 → ☐多量の水で洗い流す ☐その他 ( ) ☐目に入った場合 → ☐多量の水で洗い流す ☐その他 ( ) ☐飲み込んだ場合 → ☐多量の水を飲ませ吐かせる ☐その他 ( )
	漏洩時措置	除去方法: ☐吸着マット・ほうき・スコップで回収する ☐その他 ( ) 除去作業時の注意: ☐廃棄物に触れないようにする ☐その他 ( )
	火災時措置	水による消火 ☐可 ☐不可 →消火方法 ( )
	その他 ☐有 ☑無	
16	その他の情報	SDS (☐有 ・ ☑無) 分析表 (☑有 ・ ☐無) サンプル (☐有 ・ ☑無) 有の場合→ ☐均一 ☐不均一 ☐疑似サンプル 写真 (☐有 ・ ☑無) その他 (☐有 ・ ☑無) 具体的には→ ( )

＜変更履歴／内容確認欄＞

No.	日付	区分	排出事業者担当者	処理業者担当者	変更内容／備考

様式作成 環境省

分析試験検査報告書

株式会社　江東微生物研究所
本　社　東京都江戸川区西小岩5-18-6
電話　(03)3672-1251(代)
試験所　株式会社　江東微生物研究所
環境分析センター
福島県いわき市好間工業団地4-18
電話　(0246)36-8558
計量証明事業登録　福島県第環35号(濃度)

五所川原市長　佐々木　孝昌　様

郵便番号　037-8686
住　　所　青森県五所川原市布屋町41番地1
電話番号　0173-35-2111

環境計量士　岩澤　潤一

依 頼 日　2026年11月5日　貴依頼による試料の計量結果について下記の通り報告致します。

採取場所	工業用水道センター天日乾燥池					採取区分	環境営業部
試　　料	汚泥(溶出試験)			天　候	雨	持込区分	環境営業部
採 取 者	川口　知美	採 取 日	2026年11月5日　14:40	気　温	11.0 ℃	水　温	

計　量　対　象	単　位	試 験 結 果	計　量　方　法
ｱﾙｷﾙ水銀化合物	mg/L	<0.0005	S46環告第59号付表3
水銀又はその化合物	mg/L	<0.0005	S46環告第59号付表2
ｶﾄﾞﾐｳﾑ又はその化合物	mg/L	<0.01	JIS K 0102-3 14.5
鉛又はその化合物	mg/L	<0.01	JIS K 0102-3 13.5
有機燐化合物	mg/L	<0.1	S49環告第64号付表1
六価ｸﾛﾑ化合物	mg/L	<0.05	S48環告第13号別表第1
砒素又はその化合物	mg/L	0.09	JIS K 0102-3 20.5
ｼｱﾝ化合物	mg/L	<0.1	JIS K 0102 38.1.2 及び 38.5
ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾌｪﾆﾙ[PCB]	mg/L	<0.0005	S46環告第59号付表4
ﾄﾘｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	mg/L	<0.01	JIS K 0125 5.2.1
ﾃﾄﾗｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	mg/L	<0.01	JIS K 0125 5.2.1
ｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝ	mg/L	<0.02	JIS K 0125 5.2.1
四塩化炭素	mg/L	<0.002	JIS K 0125 5.2.1
1,2-ｼﾞｸﾛﾛｴﾀﾝ	mg/L	<0.004	JIS K 0125 5.2.1
1,1-ｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	mg/L	<0.02	JIS K 0125 5.2.1
ｼｽ-1,2-ｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	mg/L	<0.04	JIS K 0125 5.2.1
1,1,1-ﾄﾘｸﾛﾛｴﾀﾝ	mg/L	<0.3	JIS K 0125 5.2.1
1,1,2-ﾄﾘｸﾛﾛｴﾀﾝ	mg/L	<0.006	JIS K 0125 5.2.1
1,3-ｼﾞｸﾛﾛﾌﾟﾛﾍﾟﾝ	mg/L	<0.002	JIS K 0125 5.2.1
ﾁｳﾗﾑ	mg/L	<0.006	S46環告第59号付表5

検液作成方法は昭和48年環境庁告示第13号によります。

試験期間	2026年11月5日　～　2026年11月18日

分析試験検査報告書

株式会社　江東微生物研究所
本　社　東京都江戸川区西小岩5-18-6
電話　(03)3672-1251(代)
試験所　株式会社　江東微生物研究所
環境分析センター
福島県いわき市好間工業団地4-18
電話　(0246)36-8558
計量証明事業登録　福島県第環35号(濃度)

五所川原市長　佐々木　孝昌　様

郵便番号　037-8686
住　　所　青森県五所川原市布屋町41番地1
電話番号　0173-35-2111

環境計量士　岩澤　潤一

依 頼 日　2026年11月5日　貴依頼による試料の計量結果について下記の通り報告致します。

採取場所	工業用水道センター天日乾燥池					採取区分	環境営業部
試　　料	汚泥(溶出試験)			天　候	雨	持込区分	環境営業部
採 取 者	川口　知美	採 取 日	2026年11月5日　14:40	気　温	11.0 ℃	水　温	

計 量 対 象	単 位	試 験 結 果	計 量 方 法
ｼﾏｼﾞﾝ	mg/L	<0.003	S46環告第59号付表6の第1
ﾁｵﾍﾞﾝｶﾙﾌﾞ	mg/L	<0.02	S46環告第59号付表6の第1
ﾍﾞﾝｾﾞﾝ	mg/L	<0.01	JIS K 0125 5.2.1
ｾﾚﾝ又はその化合物	mg/L	<0.01	JIS K 0102-3 26.4
1,4-ｼﾞｵｷｻﾝ	mg/L	<0.05	S46環告第59号付表8の第3

検液作成方法は昭和48年環境庁告示第13号によります。

試験期間	2026年11月5日　～　2026年11月18日